

みよし市地域公共交通計画（案）のパブリックコメント実施結果

1 案件名

みよし市地域公共交通計画（案）

2 募集期間

令和7(2025)年1月10日（金）から2月14日（金）まで

3 募集方法

電子メール、ファクシミリ、郵便及び直接持参による方法

4 募集結果

(1) 提出者数 : 2人

(2) 提出意見数 : 3件

5 寄せられた意見とみよし市の考え方

番号	ご意見の趣旨	市の考え方（対応）
1	さんさんバスの路線や停留所の解り易いマップの作製が欲しい。 正直解らないので使っていない。 ・マイカーの『運転ができない高齢者』等の利用は、「ショッピングセンター」や「病院」等のある程度大きな施設なので、自宅近くの「どの停留所」から、「どの路線」に、「いつ」乗って、（途中乗換も）、「どこ」で「何時に降車」できるか？ 「極力一枚」で（または折り畳んだ複数ページの冊子）極力解り易い「路線便利マップ」が必要 ・（ショッピングセンターや病院以外で）『運転可能な成人』が必要な機会。 それは、夕刻～夜間の「飲食・飲酒」での利用。市内の「飲食店マップ&お店紹介」を上記「路線便利マップ」と合体して欲しい。 市内の「店舗の活性化」にも大いに役立つと思う。	さんさんバスを使いこなすための情報提供やマップ等の作製については、施策③のうち事業12及び施策④のうち事業13・14・15に関連して実施することを想定しています。また、施策③のうち事業12で活用するMaaS アプリ等の複数の移動サービスを最適な組み合わせで検索等を一括で行うサービスであり、これらを活用することでわかりやすい公共交通サービスの充実が図れると考えております。 頂いたご意見については、これらの事業実施の参考とさせていただきます。
2	公共交通機関への「低公害車両の導入」 これが掲げられている事は、大変良いと思います。その一つとして私も提案しているのは「さんさんバスのFCV化」です。 昨年末、ゼロカーボン推進室様宛に、「みよし市ゼロカーボンシティ推進計画」のパブコメ提出させて頂きました。 「低公害車を走らせる」だけでなく、その「燃料の地産地消（CO2フリーの）」が重要だと思っています。	現在、さんさんバスの運行に適した車両において、FCV が量産化されておらず、導入に至っていません。 計画内では施策⑤のうち事業19において低公害車両の導入を掲げており、さんさんバスの運行に適した車両における、FCV を含めた低公害車両が量産化された場合には、導入を進めていきます。

3	私の意見の要点は、 1. 定時運行のバス、乗り継ぎタクシーではバス時刻主体の移動時間の拘束となり、1 時間に 1 本程度など本数も少なく、酷暑、厳寒、強風、雨などの悪天候時の乗り継ぎ待ちは足腰弱い高齢者には大変負担大。定時運行では利便性に限界がある。 2. 予約型運行のデマンドカー（チョイソコ）、ライドシェアの導入により、利用者主体の移動手段が確保でき、かつ、乗車した利用者が行きたい場所のみをショートカット移動できるので移動時間が短縮できる。 3. デマンドカーの停留所はバスの停留所よりも細かく設定でき、移動先を銀行、コンビニ、郵便局、医院などピンポイントで移動でき、自宅から目的地への移動が足腰弱い高齢者にも一層便利になる。 4. より便利な移動手段であるデマンドカーが導入されれば、高齢者の免許返納率向上にも寄与できる。 5. デマンドカーの導入に際し、試験運転などを通じて利用状況を把握し、さんさんバス路線の見直しにも着手すれば、さんさんバス運行費用の低減も可能となり、市民の負担額が低減できる。 です。 ぜひとも、「デマンドカーの必要性を検討する」の一言でもよいので、反映を是非ともお願いしたいです。	本計画においては、市の地域特性や公共交通の運行状況を踏まえると、AI を活用した乗合型交通の導入は必要ないと考えております。 また、身体的な理由等により、鉄道や路線バス、さんさんバス・乗継タクシーの利用が困難な方に向けたものとして、施策⑥のうち事業 21 において、デマンド型交通による移動手段を確保する取組みを検討しています。 今後、計画を見直す際に、本市の移動需要や実態等の変化に応じて、必要であれば共助型交通などの新しい交通手段の導入を検討してまいります。
---	--	--